

工大祭 2023 公式ロゴ 使用ガイドライン

文責：工大祭実行委員会 デザイン長 釋迦堂拓展

1 はじめに

工大祭 2023 公式ロゴ使用ガイドラインは、工大祭 2023 公式ロゴ(以下「公式ロゴ」といいます)の使用に関する基本ルールを定めたものです。公式ロゴは、ガイドラインの定める範囲内で、ガイドラインを遵守する場合に限り、使用することができます。公式ロゴ使用者は、公式ロゴの使用にあたり、ガイドラインに同意したものとみなします。また、公式ロゴに関する一切の権利(著作権等含みます)は、すべて工大祭実行委員会(以下「当委員会」といいます)に帰属します。

2 工大祭 2023 公式ロゴ紹介

公式ロゴは3つあり、目的に応じ使い分けることができます。

2.1 工大祭 2023 ロゴ



基本的にはこちらのデザインを使用してください。

2.2 工大祭 2023 ロゴタイプ



使用例：工大祭の名称を強調したい場合

2.3 工大祭 2023 テーマロゴマーク



使用例：Web サイト上でのデザイン

3 使用目的

公式ロゴ使用者は以下のいずれかの場合に限り公式ロゴを使用することができます。

1. 工大祭 2023 の紹介として使用する場合
2. 工大祭 2023 の企画展示などに用いる場合
3. そのほか、当委員会が別途許可した場合

4 使用上の注意点

4.1 公式ロゴの改変について

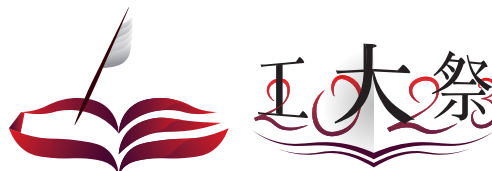
公式ロゴの改変については、縦横比を固定した状態でのサイズ変更を許可します。ただし、サイズを縮小する際は、文字や装飾等が見やすく読まれやすい必要があることに注意して縮小してください。また、色の変更については、色を変更していない公式ロゴをそのまま白黒印刷して使用すること、および色を変更していない公式ロゴをデザインソフト上でグレースケール化することのみ許可します。上記2点以外については一切の改変を禁止します。

4.2 背景について

公式ロゴを使用する際は、公式ロゴにかかる部分はロゴと同一化しないデザインを用いてください。やむを得ず濃い色を含む背景を用いる際や、写真を背景にする際は、公式ロゴを使用する部分に透過した白の図形を配置するなど、視認性を損じないような工夫をしてください。また、ロゴ上に透過した白の図形を配置するなど、ロゴを薄く透かすような使用方法も許容しますが、薄く見えないような使い方はしてはいけません。

5 公式ロゴ使用禁止例

- 色の変更
- マークと文字の比率変更



- ロゴの一部が隠れる
- 縦横比の変更



- 一部分のサイズ変更
- 背景が視認性を損ねている



【参考】工大祭 2023 テーマ “chronicle” 紹介

今年の工大祭のテーマ“chronicle”には、「年代記」、「編年記」という意味があります。東工大はいま、東京医科歯科大学との合併や女子卒の導入など、大きな変革のうねりの中にいます。そんなときだからこそ、東工大や工大祭がこれまで積み重ねてきた人々の物語を想いたい。これまでの歴史を振り返って、この工大祭を東工大のクロニクルの新たな1ページとしたい。そして来場者の方の記憶の1ページになってほしい。そんな想いがこもっています。

お問い合わせ先

質問がございましたら、工大祭実行委員会までお気軽にご連絡ください。
mail : info@koudaisai.jp